

平成 23 年度 共同利用研究施設 利用者会議（意見交換会）

日 時：平成 23 年 7 月 1 日（金） 16 時 00 分 ～ 16 時 45 分

場 所：医学部 1 号館 5 階 会議室

（順不同、敬称略）

出席者：疾患モデル教育研究センター 助手	吉 原 大 輔
医療科学部臨床検査学科 教授	秋 山 秀 彦
医療科学部臨床工学科 准教授	岡 村 和 彦
医療科学部臨床工学科 准教授	井 平 勝
総合医科学研究所医高分子学 助教	山 口 央 輝
総合医科学研究所医高分子学 助教	近 藤 晶 子
総合医科学研究所難病治療学 助教	中 谷 直 史
総合医科学研究所難病治療学 助教	上 田 洋 司
医学部微生物学 講師	有 満 秀 幸
医学部薬理学 准教授	一 瀬 千 穂
医学部生化学 講師	石 原 悟 子
医学部生化学 助教	吉 村 憲 子
医学部生化学 助教	宗 綱 英 二
医学部生化学 研究補助員	琴 村 直 恵
医学部血液内科学 研究補助員	都 築 佐 知 子
医学部脳神経内科学 准教授	朝 倉 邦 彦
医学部麻酔・侵襲制御医学 研究補助員	加 藤 由 布
医学部循環器内科学 研究補助員	笹 田 美 薦
医学部整形外科学 研究補助員	田 島 香 里
医学部精神神経科学 講師	池 田 匡 志
医学部内分泌・代謝内科学 研究員	植 田 佐 保 子
医学部内分泌・代謝内科学 研究補助員	野 村 沙 也 佳
医学部小児科学 教授	柘 植 郁 哉
医学部小児科学 研究補助員	吉 川 明 子
共同利用研究施設 施設長	谷 口 孝 喜
共同利用研究施設 講師	山 本 直 樹
共同利用研究施設 助教	新 美 元
共同利用研究施設 助手	小久保 正 博
共同利用研究施設 助手	鈴 木 政 美
共同利用研究施設 助手	井 手 富 彦
総合医科学研究所事務室 事務員	近 藤 祐 司

議 題：平成 23 年度 共利研機器備品監査について  
オンライン機器予約システムについて  
その他

議 事：

共同利用研究施設（以下、共利研）谷口施設長が始めに挨拶をされた。  
共利研には 21 世紀 COE 記念センターや、昨年完成した医学部 1 号館 3 階の中央研究センター等の施設があり、大型研究機器も他大学に比べ多く導入しており恵まれた環境である。そのため皆様から意見や要望を出して頂き、より多くの方々に利用して頂ける施設にしたいとのことであった。

次に議題の審議に入った。

#### 1. 共利研機器備品監査について

共利研事務担当者 近藤より、平成 23 年度備品監査が 7 月に行われるため調査にご協力をお願いがあった。

#### 2. オンライン機器予約システムについて

共利研 山本よりオンライン機器予約システムの利用方法の説明、注意事項等の連絡があった。

##### ① システムの紹介

- ・サーバーは仮想のものであり、デスクトップのパソコンである。
- ・学内 LAN に接続のパソコンで利用ができ、その際の特別なソフトウェアのダウンロードは不要である。
- ・セキュリティを考慮し学外からのアクセスはできないようになっている。

##### ② これまでの経緯について

- ・6 月 13 日から 6 月 30 日まで第 1 次試験稼働を実施した。その期間中に修正課題が検出されたため、6 月 22 日にプログラムの一部変更を実施した。

##### ③ 停電時について

- ・停電した場合は再起動をかけなければ予約システムは稼働しない。
- ・施設部による計画的な停電とシステムメンテナンスを行う場合には、システムの安定を考え事前に電源を切るようにする。その際には、利用者に事前連絡をする。

#### ④ 利用方法について

- ・ 共利研のホームページを開き施設詳細から分子生物学に入ると、オンライン機器予約システムがある。利用方法については、そのページに機器予約システムマニュアルにて確認できる。

#### ⑤ 利用時の注意事項

- ・ ショートカットを作成し機器予約システムの利用は可能であるが、本運用の開始時にサーバー用パソコンを変更する予定である為、試験稼働時に作成したショートカットは使えなくなる。
- ・ 他の利用者が入力した予約の削除が出来てしまうので、登録を削除する場合は注意が必要である。
- ・ 利用時間が短い機器については、予約システムに登録していない。
- ・ 機器利用について、必ず予約をしないとイケないわけではない。使用前に予約状況を確認し、予約が入っていなければ使用可能である。
- ・ 医学部 1 号館 303 号室のセルソーター(FACS Vantage)については予約システムに登録していない。本機器は利用にあたり共利研機器管理担当者によるレーザー光軸の調整が毎回必須であり、事前に担当者と日時を打ち合わせする必要があるためである。
- ・ 夜間から翌日まで機器を稼働させる場合の予約については、使用していることが分かるように、その日と翌日の枠に予約入力をする。
- ・ 機器利用記録は従来通り必ず記入すること。

#### ⑥ オンライン機器予約システムの予約入力・予約確認について

- ・ 中央研究センター解析室と医学部 1 号館 304 号室に予約入力と確認ができるパソコンを設置した。

#### ⑦ 今後の予定について

- ・ 7/1～7/31 までは第 2 次試験稼働とする。その間の予約方法としては、機器の予約台帳の記入とオンライン予約入力を行うこととし、予約の重複が発生した場合は、オンライン予約入力をした方を優先とする。
- ・ 第 2 次試験稼働期間において、問題点の検出とシステムの修正を行い、問題がなければ 8/1 より本稼働をする。
- ・ 共利研ホームページの完全リニューアルを行い、トップページから予約システムに入れるようにする。
- ・ 医学部 3 号館 1 階と 2 階 (21 世紀 COE 記念センター) の機器についても予約システムの登録をする。

### 3. その他連絡事項

- ・マックパソコンでも共利研ホームページのプルダウンを効くように更新していく。
- ・データ転送用の **MO** を忘れた方は共利研で用意しているので、必要な場合は山本まで連絡してほしい。
- ・解析室パソコンの台数が少ないので、パソコンの増設を検討している。
- ・**BZ9000** と **Macintosh PC** で制御している **FACS** のデータ転送については、必ず使用前にその都度ウイルスチェックをかけた個人の **USB** メモリの使用を認め、それに該当する機器については「**USB** メモリ使用可」などのラベルを貼付する。
- ・機器の故障・修理を行う場合、故障理由と故障箇所が利用者に分かるよう共利研ホームページでお知らせできるようにすることを検討する。
- ・学生が機器を利用する場合には事故防止の為、必ず指導教員か大学院生や研究補助員等が立ち会いの下で行うこと。

16時45分 閉会。

以上